

# 西濃



小鳥  
相馬 順子  
(各務原市新鷺沼台)

大垣支局  
〒503-0893  
大垣市藤江町6-82-4  
0584(78)2030  
Fax(74)6460

養老通信局  
0584(32)0699  
Fax(32)2740

揖斐川通信部  
0585(22)1150  
Fax(22)0735

岐阜支社  
〒500-8875  
岐阜市柳ヶ瀬通一丁目12番地  
058(265)0191  
Fax(262)8706

(販売) (265)0265  
(広告) (266)4791  
(事業) (265)0267



医療法人社団 誠 広  
**平野総合病院**  
〒501-1131  
岐阜市平野七六〇(五)三九一

## 西遊記 2017



阿部 和也氏

池田町六之井の池田高校の一年生六人が、さまざまな分野で活躍している卒業生を取材した。先輩たちから働く意義や楽しみを学び、将来設計に役立てることが狙い。今月中にも取材結果を記事にまとめる予定だ。

「仕事のやりがいとは何か」「保育士になるために必要な勉強は」。池田高出身で、養基保育園で保育士として働く衣斐美紀子さん(三)に、一年の梶谷莉央さん(二)と森美結さん(二)が矢継ぎ早に質問する。「子どもの成長を見守れるのがやりがい」「勉強はした方がいいよ」などと衣斐さんが回答するたび、二人はノートにメモを書き込んでいった。

取材はキャリア教育の一環で、町教委と同校が初めて実施。キャリア教育の活動を支援する「KOHOPラスワン」(大垣市丸の内)が協力した。

生徒たちは、二人一組で保育士、消防士、教員の三人を取材。事前にビデオシネスマナーや取材のやり方、スマートフォンでの写真撮影、記事の書き

方などを学んでから臨んだ。

## 働く魅力卒業生に学ぶ



たい気持ちの方がより強くなった」と笑顔で語った。理学療法士を目指す森さんも「勉強をしっかりとの方が良い」という言葉が印象的だった」と振り返った。

今後、A3利用紙に撮影した写真と千文字ほどまとめた記事を書き、クラスの授業で発表する。東さんは「チャレンジすることの大切さを学べる機会。この事業が池田高の魅力の一つになれば」と話した。

衣斐さん(左)を取材する梶谷さん(中央)と森さん(右)池田町六之井の町中央公民館で

## 「次はK2の登頂を目指す」

### 登山家・稲吉さん大垣で講演

日本人女性十四人目、スト登頂を決意。資金はただの折り返し地点のエベレスト登頂を果集めに苦勞しつつも、大事なのはこれだ

過程だと気付いた」と話した。

酸素ボンベを使って登ったことで「楽に足が進み、山頂まで行けた」と振り返った。今年中に、酸素

第二位のK2(八、六一)の登頂を目指している。「全てを懸けてでも、登れるかどうか分からない山に挑戦したい」と力強く話した。

ステージ発表  
手芸、写真を展  
安八で文化夢ま  
安八町文化協  
属する団体が活  
果を発表する文  
つりが四日、町  
民館で始まった  
まで。  
この日のステ  
表では、音楽の  
十四人が出場。田  
ボランティア  
生徒が発表  
大



人形や掛け  
春を感じる24

揖斐川で企画

春の季節を感じ  
る人形を集めた企  
が、揖斐川町上南  
揖斐川歴史民俗  
で開かれている。  
日まで。  
同町が町民から